

キャンプ (有料)

南極の陸上で、一夜の「キャンプ体験」をいたします。

キャンプに必要な装備等はすべて探検会社でご用意いたしますので、南極の野外で「ひっそりと静まりかえる氷の大地」をごゆっくりお楽しみいただけます。また、写真撮影にたっぷり時間を取りたいというお客様には特におすすめです。

テントまたはビービーサック（シュラフカバー）といわれる防水加工を施した寝袋をお選びいただくことができます。

※南極上陸中、食事をとることは禁止されていますので事前にしっかりとお食事をおとり頂き、防寒対策をした上でご参加ください。ミネラルウォーターの持ち込みは OK です。また、トイレは緊急時に備え簡易トイレをご用意いたします。

カヤック (有料)

南極の湾部で、今まさに壮大な氷河や氷山が流れこむという様子をご覧になりたい方におすすめです。

体験中は海面から思わぬ野生生物が顔を出したりすることもあります。耐氷船では探索出来ない澄み切った洋上を熟練したガイドが先導し、10～16人のグループで行動します。

（注）厳しい条件下の極地アクティビティですので、カヤック経験者で、かつ水に濡れる覚悟をお持ちの方におすすめします。専用のヘッドギア、グローブ、ソックスの貸出があります。

登山 (有料)

通常の上陸で見学できる沿岸周辺だけでなく、南極の白銀の大地をもっと奥地へ行ってみたいという方におすすめです。

アイゼンとピッケルを装着する5～6時間の本格的な登山ですが、経験豊富なガイドが同行しますので、特別な経験は必要ありません。

（注）南極上陸中、食事をとることは禁止されていますので事前にしっかりとお食事を取り、防寒対策をした上でご参加ください。ミネラルウォーターの持ち込みは OK です。また、トイレは緊急時に備え簡易トイレをご用意致します。

クロスカントリー・スキー (有料)

アムンセンやシャクルトン探検隊はクロスカントリー・スキーを履いて一面雪や氷の大地を探検しました。これは南極の陸上を移動するには今でも最も有効な方法と言えるでしょう。所要時間は2〜3時間ですが、健康で体力に自信のある方におすすめします。

(注) クロスカントリー・スキーの経験者であることはもちろんのこと、体力に自信があるということが参加条件になります。防寒具やスキー用のサングラスなどの装備をご用意ください。

スタンドアップ・パドルボード (有料)

カヤック或いはカヌーとサーフィンを組み合わせたようなスタンドアップ・パドルボードは、南極旅行&クルーズの際、ユニークな体験を提供します。気象条件の良い日に波穏やかな湾で、経験豊富なスタッフの誘導でご案内いたします。

スノー・シュー (無料)

南極の雪原を徒歩で探索するにはスノー・シュー（日本で古くから使われている「かんじき」をイメージして頂くと分かりやすいかと思います。）が、最も適しています。これを履いて、息を飲むような美しい入り江や見どころ多い雪に隠れた地形を経験豊富なガイドがご案内します。純白の深い雪は、雪渓の横断に際し障害になります。このスノー・シューを使用することによって、そういった魅力ある場所へのアクセスを可能にし、極地での行動範囲を広げることができます。

このアクティビティーでは、健康体であることが参加条件となります。体力に自信のある方は挑戦してみたいかがでしょうか？

雪原探索に必要な装備はすべてクオーク社で貸し出しいたしますが、長時間の探索に備えて暖かい服装をご用意ください。

写真教室 (無料)

南極は世界でも滅多にない写真撮影をするための目的地ともなっています。玉砂利の上で遊ぶペンギンやしづきをあげて跳ね上がるクジラ、磨かれた宝石のような巨大氷河などドラマチックな光景が刻々と展開します。風景写真を素晴らしいものにするには、ファインダー越しに見える様々な要素を構造的に理解する技術が必要となります。このプログラムでは専門のカメラマンが、大自然が見せるほんの一瞬の輝きを上手に写真に収めるためのレクチャーを行います。